

授業科目	嚥下障害Ⅳ (チームアプローチ)				
担当者	大塚佳代子・落合かおり・林直子・松岡俊哉・森田婦美子・余川ゆきの・中村靖子				(オムニバス)
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	2 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

摂食嚥下リハビリテーションに必要な知識と技術を演習を交えて学ぶ。
 気管切開患者の嚥下・発声発語障害の訓練法 (大塚)
 チームアプローチを行うにあたり多職種の業務内容を知り、連携内容について知る。(余川)

■ 到達目標

臨床上必要な知識を身に付け、手技を実践できるようになる。
 気管切開患者の嚥下障害と発声発語障害について理解し、訓練方法を学ぶ。(大塚)
 歯科衛生士が行う口腔リハビリテーションについて知識を得る。(余川)

■ 授業計画

- 第1回 カニューレの構造・役割・種類と取扱いについて (中村)
- 第2回 気管切開患者の嚥下障害と発声発語器官障害 (大塚)
- 第3回 気管切開患者の嚥下障害と発声発語訓練 (大塚)
- 第4回 内科的疾病と口腔ケア～動画を用いて～ (余川)
- 第5回 基本的な口腔ケアの注意点と手技 (機能的口腔ケア実習) (余川)
- 第6回 栄養管理について (落合)
- 第7回 NSTについて (落合)
- 第8回 嚥下食や治療食、食形態について (落合)
- 第9回 摂食嚥下障害のリハビリテーションについて病棟ナースがSTに期待すること① (林)
- 第10回 摂食嚥下障害のリハビリテーションについて病棟ナースがSTに期待すること② (林)
- 第11回 摂食嚥下訓練時のポジショニング (松岡)
- 第12回 吸引の手順の理解 (森田)
- 第13回 吸引の演習① (森田)
- 第14回 吸引の演習② (森田)
- 第15回 嚥下障害の総復習 (中村)

■ 評価方法

筆記試験100%

■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

適宜授業中に指示する。

■ 教科書

書 名：発声発語障害学
 著者名：藤田郁代
 出版社：医学書院

書 名：言語聴覚士ドリルプラス摂食嚥下障害
 著者名：大塚裕一 福岡達之
 出版社：診断と治療社

■ 参考図書

--

■ 留意事項

--

■ 講義受講にあたって

--